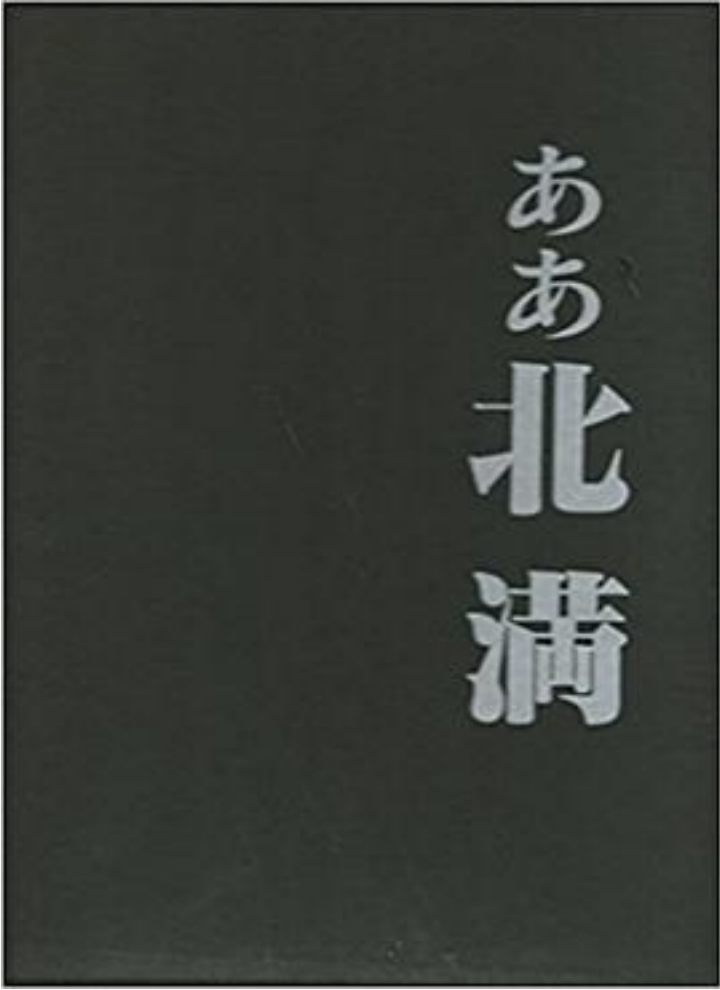


ああ北満（写真集）



[ああ北満（写真集）_ダウンロード1](#)

著者:北小路 健

出版者:国書刊行会

出版时间:1980-5-30

装帧:平装

isbn:9784336017444

作者介绍:

北小路 健（きたこうじ けん、1913年1月25日 - 1991年10月22日）は、国文学者、古文書学者。本名は渡部 栄（わたなべ さかえ）。

福島県会津若松市生まれ。1937年、東京文理科大学国文科卒、能勢朝次に師事し、「源氏物語」研究を志す。父の遺品の中から、従一位麗子本源氏物語を発見し、これを論文にする。しかし召集され、病のため除隊となるが、満州で中学教師の傍ら研究を続けた。学界でも注目されるようになり、蔵書は和本7000冊を含む13000冊を超えたが、敗戦時、ソ連兵によってすべて焼かれた。その後、長春の露天市で島崎藤村の「夜明け前」を見つけ、これを研究課題のひとつとする。

引き揚げの後も、なぜか大学教師の職には就かず、在野で研究を続ける。『夜明け前』研究の成果は『木曽路 文献の旅』として結実し、「木曽路はすべて山の中である」に始まる冒頭部分が、『木曽街道図会』から借用したものであることを発見した。同書で1984年、毎日出版文化賞を受賞。また安岡章太郎が『流離譚』を書くにあたり文献の解説を頼んできたが、北小路は安岡を説いて、現地をともに踏査した。1984年、その数奇な半生記『古文書の面白さ』を刊行し、日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。蔵書を焼いたロシア人らを「露助」と何度も書いているためか再刊されないが、これは名著である。

目録:

[ああ北満（写真集）](#) [ダウンロード1](#)

标签

画册

满洲国

满洲

满族图像

殖民现代性

殖民帝国之眼

东北史地

评论

[ああ北満（写真集）_ダウンロード1](#)

书评

[ああ北満（写真集）_ダウンロード1](#)